

三小タイムズ

令和3年5月24日発行 校長 辻 久恵

全校朝会の話

皆さん、おはようございます。

最近のきらりを紹介します。

「一斉下校訓練」をしっかりと行うことができたことです。

台風や大雨の時に、一時的に雨や風が弱くなった時に方面別に下校するという想定訓練でした。とてもスムーズに下校することができました。どのグループも上級生が下級生を気遣いながら歩いていました。三小の皆さんの様子を素敵だと思いつつ見えていました。

さて、先週は養護の藤田先生が「正しい手洗い」について詳しくお話してくださいました。今日は「マスク」のお話です。緊急事態宣言が延長されて、今はコロナ対策をしっかりと行うことがとても大切です。

コロナウィルスは、ほとんどの場合、口から口や鼻への飛沫によって感染するので、飛沫を飛ばしたり、吸い込んだりしないようにマスクをしています。学校では、食べる時以外はマスクをしていますし、マスクを外した時は、話をしないよう気を付けていますね。では、マスクをしていれば安心かと言うとそうではありません。実験によると、マスクをしていても、飛沫は飛んでしまうことが分かっています。でも1メートル程度離れていれば、吸い込む確率がぐんと減ります。つまり、マスクをしていても話す時には、しっかりと距離をとることが必要だということです。マスクをしていても、顔を近づけて大声で話したり笑ったりしては、感染のリスクを高めてしまいます。大事なことは、なぜマスクをしているのか、意味をよく考えて行動することです。

これから暑くなると、マスクをすることが暑苦しくて、つい外したくなりますね。体に熱がこもると熱中症になる危険もあります。そこで、体育の時間には、マスクを外して運動したり、こまめに休憩をとったり、水分補給をしたりして、熱中症対策にも取り組んでいきます。皆さんに考えてほしいことは、運動の時にマスクを外したら、どのように行動すればよいかということです。マスクを外している間は、話をしません。ハアハアと、呼吸が激しくなって、息を整える時は人との距離をあけるとか、人に顔を向けないなど、一人一人が考えた行動をしてほしいと思います。

休み時間も同じです。マスクをしていて息苦しくなったら、少しの間外してもいいですが、話をしないこと、息が整ったらマスクをするなど、その場に合った行動が、言われなくてもできるようにしましょう。

コロナウィルスの感染症にも、熱中症にもならないように、マスクを上手に使いましょう。6月になると、プールの学習も始まります。プールではマスクはできませんので、みんながマスクを外します。さあ、どのように行動すればよいでしょうか。

お話のまとめです。体育ではマスクを外してもよい。マスクを外している間は話をしない。話をする時は、またマスクをする。マスクをしていても距離を十分にとる。どれも、簡単そうで難しいことです。忘れている人がいたら、静かに教えてあげましょう。今日は「マスクを上手に使いましょう。」というお話でした。

今週も頑張りましょう。